

2019年
新春号
Vol.25

幸義会だより

岡山東部脳神経外科



岡山東部脳神経外科病院 院長 浮田 直也

新年の挨拶

新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては新たな気持ちでお健やかに新年をお迎えのこととこころよりお慶び申し上げます。

昨年日本全国さまざまな地域において地震や自然災害が発生した年であり、これまでそのようなことは無縁であると思われていた岡山でも豪雨災害が発生し甚大な被害をもたらしました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて毎年、年末になりますとテレビなどでその年に生じた様々な出来事を振り返るような番組が多数放送され、それらを見るたびに来年こそは何もなく平和で安定した世の中になればとよく思います。今年5月1日の皇位継承に合わせた新しい元号がスタートです。なんと自分の元号である偉大な昭和が二代前の元号となってしまう。明治は遠くになりけり、ではなく、昭和は遠くになりけり、です。それで調べてみますと、もとは中村草田男作で、ふるゆきや めいじはと おくなりけり、であり、意味は、雪が盛んに降っている。その雪に現実の時を忘れ、今が二十数年前の明治のころそのままのような気持ちになつていた所、ふと現実に戻り、しみじみ明治は遠くになってしまったと、痛感するものだ、とのこと。昭和6年の作で、作者が母校の小学校付近を20年ぶりに歩いてみると、自分のころとは全く違った格好の児童たちを見て、現代風の若者を見ると20年の歳月の流れを感じさせられる。そして明治の良き時代は遠くなつてし

またとの気持ちを歌つたようです。この年になると元号かわらずともよく実感できます。自宅で70年代80年代ヒット曲を聴いていると、必ず子供たちに止められ、変な曲！って言われ、米津玄師とかに変わります。そっこのほうが変じゃ！って言い返しますが、やはり負けます。昔トシちゃんやマツチとか聴いていたときとか親もそう思ってたんでしょか？確かに父親がかけるレコードの曲は古く思っていました。そう！そんなのもんです。子供叱るな来た道だもの、年寄笑うな行く道だもの、です！ずいぶん来ちゃったなあと思うこのころですが、気分はいつも若者で今年もがんばろうと思えます。サミュエル・ウルマンの名言、青春とは人生のある時期ではなく心の持ち方を言う、いい言葉です！金言名言に頼るところが老化かなあ・・・



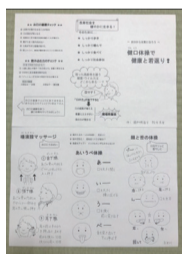
超高齢化社会の現在、健康とは何かと聞かれると皆さんは何と答えるでしょうか。一概には言えませんが、歯科に携わる私は「口で食べて、口で話をして、口（鼻）で呼吸をして」とついつい口腔の大切さをアピールしたくなつてしまっています。最近では、オールフレイルという言葉がよく使われるようになりました。口腔機能低下が全身的な機能低下をもたらすと理解が深まり、口腔ケアの重要性に心がもたれていることに、いち歯科衛生士として嬉しく思います。

さて東備クリニック通所リハビリテーションでの口腔ケアを開始して3ヶ月が経ちました。口腔ケアには、器質的口腔ケア（口腔清掃）と、機能的口腔ケア（口腔機能回復）があります。通所リハビリテーションにおける口腔ケアでは、むし歯や歯周病の予防と早期発見、唾液分泌の促進、誤嚥性肺炎の予防、会話などのコミュニケーションの改善、口腔機能の維持と回復を目的として取り組んでいます。具体的な取り組みとして、アセスメントと嚥下機能評価を実施して利用者様の口腔内診査も含めて情報収集をします。そこで問題が見つかり本人・ご家族へお伝えした結果、歯科受診へと繋がったケースが現在8件ほどあります。器質的口腔ケアとして、歯磨き指導、義歯の清掃指導、専門職による歯磨きの実施をします。また機能的口腔ケアとして、健口体操、リラクゼーション（口腔内マッサージ等）、嚥下に関する体操や訓練などを行っています。

まだ開始3ヶ月の為、大きく目に見える効果はないかも知れませんが、「全身の健康はお口の健康から」を念頭に、通所リハビリテーションで出来る事を一杯やるのと同時に地域歯科医療との連携も図れたらと思っております。いつでも見学して頂けますので、気軽にご連絡下さい。宜しくお願致します。

通所リハビリテーション4単位 口腔ケアの取り組みと効果

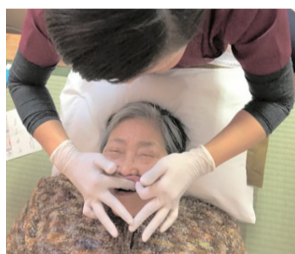
歯科衛生士 粕井 美里



作製したリーフレット配布して自宅でも実施してもらいます。



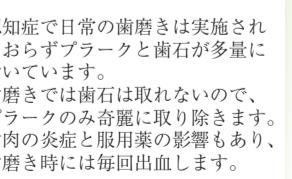
昼食前に唾液腺マッサージをしてスムーズな嚥下ができるようにしています。



リラクゼーションで口腔内のマッサージをしています。



麻痺による口腔内への食物残渣が激しい例です。義歯も汚れているので、口腔内の歯磨きと合わせて義歯も清潔にします。



認知症で日常の歯磨きを実施されておらずプラークと歯石が多量に付いています。歯磨きでは歯石は取れないので、プラークのみ綺麗に取り除きます。歯肉の炎症と服用薬の影響もあり、歯磨き時には毎回出血します。



ブローイング訓練で肺や口唇機能の強化して、むせた際の咳の力を強くします。



昼食後に歯磨き指導を小グループで実施

＜歯科受診へと繋がったケース例＞

- ①むし歯を発見してご家族にお伝えしたところ、その日に歯科へ予約を入れられ翌週には治療を終えられた。
- ②義歯の破損（ヒビ）を家族にお伝えし、歯科受診され修理をされた。
- ③動揺の大きな歯の固定が外れているのを本人にお伝えしたら、すぐに歯科受診を

された。

- ④補綴物（ブリッジ）の支台歯が脱離していることを家族にお伝えし、歯科受診をされて義歯へと変更された。
- このように、早期発見によって痛みが出る前、急遽お食事が出来なくなるといった問題を未然に防げました。

研修医紹介

研修医 小川 夕貴



神奈川県横浜市にあるけいゆう病院から参りました、初期研修医2年目の小

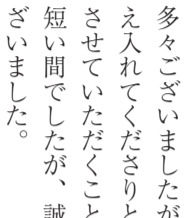
川夕貴と申します。このたびは地域研修という形で1ヶ月間お世話になりました。

この1ヶ月は手術や検査、外来の見学だけでなく、診療所や訪問診療にも一緒にさせていただき、とても貴重な経験をさせていただきました。

けいゆう病院には脳神経外科がありません。そのため当直でまれに脳外科疾患に出会った際には、苦手意識もあいつつも近くの大さな赤十字病院に患者さんを転院搬送することしか頭にありませんでした。その時点で自分の医師としての思考が完全にストップしていたのです。今回短い間でしたがこちらで研修させていただいたことで、脳外科疾患を身近に感じることができるようになりました。高齢化社会が進むなか、脳卒中や外傷などの疾患は自分の専門分野に限らず出会ってゆくことと思いますが、教えていただけたことを大切に、慌てずに対応できようと思います。

余談ですが、私はこの1ヶ月で岡山という地が大好きになりました。けいゆう病院のある横浜市西区は、埋立地を開発した地域であり、まさにコンクリートジャングル、といったような所です。大変息詰まる場所でもあります。私は岡山駅から牟佐へ向かうバスから見える自然の景色がとても好きでした(船橋先生の車では景色を見る余裕もなかったのは秘密です)。休日は倉敷や瀬戸内海など充実した観光もでき、素敵な場所を沢山見つけることができました。ぜひまた近いうちに岡山に伺いたいと思います。

最後になりますが、先生方をはじめとして、スタッフの皆様には大変お世話になりました。至らぬ点多々ございましたが、あたたかく迎えてくださりとても楽しく研修させていただきました。



脳外科病院にこより参りました。浮津彰吾と申します。当初は、

研修医 浮津 彰吾



脳外科病院にこより参りました。浮津彰吾と申します。当初は、

私も脳みそからっぽな研修医が何一つもないものかと怖気づいておりましたが、船橋先生を初め諸先生方とスタッフの皆様が瀬戸内の気候のよさに温かく迎え入れてくださり、そのアットホームな感じに癒される日々でした。そして脳のしわもやや増えたような気がしております。これほど浴びるように脳のMRIを見られるのは貴重な体験でした。

私は来年より産婦人科医として働き始める予定です。岡山ではcriticalな疾患が多く、患者さんの平均年齢も非常に高く、また全く違う世界だったように思います。しかし医療者として決して目を背けてはならない領域でもあり、我々の仕事の責任の大きさを痛感しました。

自分が地方の大学卒業なので、この牟佐の風景はどこか懐かし、ふと青春を思い出すこともありました。また船橋先生とは毎晩のようにデートし、美味しいご飯を沢山食べたこと、幸せな一ヶ月でした。太らないよう、ジムに通い詰めだったこともここに告白します。

短い間でしたが、素敵な時間を過ごすことができました。皆様にも心より感謝を申し上げます。今後ともけいゆう病院初期研修医を宜しくお願いいたします。

職場対抗リレーマラソン

平成30年10月14日(日曜日)に岡山県総合グラウンド陸上競技場シテイライトスタジアムで開催された職場対抗リレーマラソンに参加してきました。当日は秋晴れ。とても気持ちのよい一日となりました。

毎年参加の職員もいれば、今回が初参加の職員もいます。当日は場所取りから一日が始まり、飲料や昼食の買い出し班・撮影班・荷物持ち班等多職種でわいわい楽しみながら過ごしました。今回で三回目の参加となり段取りも手慣れたものです。

リレーマラソンの結果はどうであれ、楽しく日頃の運動不足が解消でき、怪我もなく気持ちの良い汗がかけました。日頃から少しずつ体を動かす気持ちよさを継続し、これからも病院職員として体調管理に気を付けて職に就こうと思えます。

毎年、快く参加を許可し送り出してくださる滝澤理事長。ありがとうございます。今年もよろしく申し上げます。

接遇勉強会

平成30年11月26日、29日に当院職員を対象に外部より講師の方をお招きし、接遇研修を行いました。接遇とは「大切」という気持ちを伝えること。小さなことほど丁寧に。当たり前のことほど真剣に、をテーマに接遇の基本と呼ばれる部分を講義していただきました。とても楽しく、分かりやすい内容で、出席した職員からも「自分の行動をふりかえるいい機会となった」「相手を思いやる接遇をしていきたい」などの感想をもちょうとすることができ、有意義な院内研修となりました。自分では普通だと思っている言動でも受け取る相手によっては捉え方も異なってきます。今回の研修を終えて、自分の言動や身だしなみを考えさせられた職員も多かったはず。質の高い医療や看護の提供はもちろんです。きちんとした接遇で接することで患者さんに良い病院に巡り会えたと思っていたりけるような病院全体で取り組んでいきたいと思えます。

通所リハ秋の大運動会

平成30年10月に通所リハビリテーション3単位で秋の大運動会を行いました。

1週目は「玉入れ」、2週目は「芯リレー」を曜日対抗で競い合いました。ハチマキをし、BGMを流して、運動会の雰囲気盛り上げました。「玉入れ」

傘を逆さづりにした的に新聞紙を丸めて手作りした玉を投げ入れます。

「芯リレー」利用者様が一列に並びヒモを持ちます。そのヒモにサラップ等の芯を通して送っていくという競技です。全ての芯を送り終えるタイムを競いました。最初の方がヒモに芯を通す作業に苦戦されていました。利用者様の一人が、「ヒモに細い木を結びつけたら、早くできるじゃろ」と翌日に木を結び付けるなど、タイム短縮に向けて工夫しながら

開院20周年記念パーティー

平成30年7月27日にANN Aスカイバンケット「宙」にて20周年記念パーティーが開催されました。岡山東部脳神経外科病院となり3年が経ちました。ベッドの移動や電子カルテの導入など大幅に変わりましたが、現在では病院として日々健闘しています。病院となる前はクリニックとして積み上げた歴史があります。今回の記念パーティーでおいしい料理を食べながら懐かしい写真を見て開院当初の話に花を咲かせ楽しい時間を過ごせました。



ら行っていました。ご利用者様皆様の負けず嫌いの性格が発揮され、2週に渡りとても賑やかでした。「玉入れ」は土曜日が優勝、「芯リレー」は月曜日が優勝し、表彰式で締めくくりました。今年も運動会を開催予定です。競技内容を職員で考え中！何か楽しそうな競技があれば教えて下さい。よろしく申し上げます。

新入職員紹介

通所リハビリテーション 久保永美子



平成30年9月より通所リハビリテーションにて勤務しております。久保永美子と申します。通所リハビリテーションでの勤務は初めてとなりますので、日々勉強の毎日です。利用者様に親身になって向き合い、その心に寄り添える介護が出来るように頑張りたいと思っております。今後とも指導ご鞭撻の程、よろしく願います。

通所リハビリテーション 瀬尾 博美



平成30年9月26日から通所リハビリテーションに勤務させていただきます。介護経験がなく、こちらで一から学ばせていただくつもりで日々奮闘中です。性格がおっとりしているのですが、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、「今日も楽しかった。また来たい。」と思っております。

東備クリニック 山本 佳奈



平成30年11月21日より医療事務課に勤務しております。山本 佳奈と申します。

前職は、ドラッグストアでビューティーカウンセラーとして働いておりました。医療事務の経験は無く全く初めてなので日々先輩方に助けられながら勉強の毎日です。至らぬ点多々ありますが精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。

